

航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 }
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

〔1〕 次の記述は、電波法の目的を述べたものである。
☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「この法律は、電波の公平かつ ☐ な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。」

1. 能動的
2. 積極的
3. 能率的
4. 経済的

〔2〕 次の記述は、ATCトランスポンダが、その航空機の航行中における通常の状態において合致しなければならない条件について述べたものである。無線設備規則の規定に照らし、☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「☐ からの質問信号を受信することによって、応答信号を自動的（特別位置識別パルスにあっては、手動により発射が開始されるものとする。）に送信することとなるものであること。」

1. タカン
2. SSR
3. ILS
4. VOR

〔3〕 無線従事者が免許証を失って再交付を受けた後、失った免許証を発見したときは、発見した日から何日以内にその免許証を返納しなければならないか。次のうちから選べ。

1. 7日
2. 10日
3. 14日
4. 30日

〔4〕 無線局の免許人が電波法、放送法若しくはこれらの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したときに総務大臣が当該無線局に対して行うことがある処分は、次のうちのどれか。

1. 期間を定めて電波の型式を制限する。
2. 送信空中線の撤去を命ずる。
3. 期間を定めて通信の相手方又は通信事項を制限する。
4. 期間を定めて周波数を制限する。

〔5〕 総務大臣は、電波法の施行を確保するために特に必要がある場合において、無線局に電波の発射を命じて行う検査では、何を検査するか。次のうちから選べ。

1. 無線局の発射する電波の質又は空中線電力
2. 送信装置の電源の変動率
3. 他の無線局の通信に与える混信の程度
4. 無線従事者の無線設備の操作の技能

〔6〕 次の記述は、時計、業務書類等の備付けについて述べたものである。電波法の規定に照らし、☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局には、正確な時計及び ☐ 、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」

1. 免許人の氏名又は名称を証する書類
2. 免許証
3. 無線検査簿
4. 明解な無線機器仕様書

航空特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 無線局を運用する場合において、識別信号（呼出符号、呼出名称等をいう。）は、遭難通信を行う場合を除き、どの書類に記載されたところによらなければならないか。次のうちから選べ。

1. 無線局事項書
2. 免許証
3. 免許状
4. 無線局免許申請書

〔8〕 無線局が自局に対する呼出しであることが確実でない呼出しを受信したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. その呼出しが反復され、他のいずれの無線局も応答しないときは直ちに応答する。
2. その呼出しが反復され、かつ、自局に対する呼出しであることが確実に判明するまで応答しない。
3. その呼出しが数回反復されるまで応答しない。
4. 直ちに応答し、自局に対する呼出しであることを確かめる。

〔9〕 無線電話通信において、「終わり」の略語を使用する場合は、次のうちのどれか。

1. 通報のないことを通知しようとするとき。
2. 周波数の変更を完了したとき。
3. 通報の送信を終わるとき。
4. 通信を終了するとき。

〔10〕 無線局が相手局を呼び出そうとする場合（遭難通信等を行う場合を除く。）において、他の通信に混信を与えるおそれがあるときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 5分間以上待つて呼出しを行う。
2. 現に通信を行っている他の無線局にその通信の終了時刻を確かめ、終了を待つて呼出しを行う。
3. 自局の行おうとする通信が急を要する内容のものであれば、直ちに呼出しを行う。
4. その通信が終了した後に呼出しを行う。

〔11〕 ノータムに関する通信の優先順位はどのように定められているか。無線局運用規則の規定に照らし、次のうちから選べ。

1. 緊急の度に応じ、緊急通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
2. 緊急の度に応じ、遭難通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
3. 緊急の度に応じ、無線方向探知に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
4. 航空機の安全運航に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。

〔12〕 航空機の遭難に係る遭難通報に対し応答した航空機局のとるべき措置は、次のうちのどれか。

1. 付近を航行中の航空機に遭難の状況を通知しなければならない。
2. 救助上適当と認められる無線局に対し、当該遭難通報の送信を要求する。
3. 直ちに遭難に係る航空機を運行する者に遭難の状況を通知する。
4. 直ちに当該遭難通報を航空交通管制の機関に通報する。